

熊谷東中学校だより
第11号

東雲

令和3年3月26日発行

<学校教育目標>

志高く

心豊かな生徒
主体的に学び、考える生徒
たくましく生きる生徒

<目指す学校像>

生徒が「日本一だ」と誇りをもって
卒業することができる学校

4つの実践

- 朝ごはんをしっかりと食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元氣よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

3減運動

減

テレビの時間を
減らします。

減

ゲームの時間を
減らします。

減

スマートフォン・
携帯電話やパソコン
に触れる時間を
減らします。

スマホ使い方宣言

自分や周りの人の情報を守ります。

他人を傷つけない。

様々な危険から情報を入力し、正確な判断をします。

インターネットにつながる機器にはウイルスやフィッシング攻撃などもあります。

熊谷市立熊谷東中学校生徒会

忘れないこの一年

～ 注意と予防は万全に、そして前向きな気持ちをもって新生活へ～

熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

私たちのこの一年を振り返ると、「with coronavirus の時代」のひと言につきます。昨年2月末に発令された臨時休業要請以降、これまで当たり前だった普通の学校生活が戻りません。徐々に通常生活に回帰する部分はあるものの、マスクは片時も離せませんし、学校生活の多くの場面で制限がかけられたままの状態です。悔しくもどかしい気持ちで一杯ですが、悲観してばかりいても状況は変わりません。この長い非常事態の中で、私たちが学ばなければならないことはどんなことなのかを整理し、意識していく必要があります。

東日本大震災 — 東北地方を中心に巨大な揺れが襲った後、見たこともない巨大な津波が人々の生活を破壊していきました。津波の高さは校舎5階にあたる16メートル以上、速さは時速30キロ以上とも検証されています。

歴史の中で甚大な津波被害に遭ってきた三陸地方(東北地方)に伝わる言葉「てんでんこ」。「各自」「めいめい」の意味があり、「津波てんでんこ」なら、「大地震がきたら、一刻も早くめいめいが高台へ逃げろ」。「命てんでんこ」なら、「自分の命は、なんとでも自分で守れ」という信号だと言います。

あの日、立ってられないほどの激しい横揺れが釜石市立釜石東中学校にいた生徒たちを襲いました。校庭にいた生徒たちは教師の指示を待たず、高台に向かって走り出し、教室にいた生徒たちも、教師の「逃げろ！」の言葉を合図に一斉に非常階段を下り始めたそうです。校門を抜け、敷地外へ走り出した生徒たちは、隣接した鶴住居小学校の児童たちと一緒に、防災訓練で教えられていた裏山の高台を目指します。その数分後、高台に集まった児童・生徒たちは、自分たちがさっきまでいた校舎が津波にのみ込まれ、足下近くまで押し寄せた津波を目の当たりにします。



自然の生み出す脅威の前に、岩手県では4,657名の方が命を落とされましたが、2つの小中学校の児童・生徒約570名は無事に避難をすることができました。歴史が残した教訓をしっかりと理解し、いざという実際の場面で敏感に反応できた成果と言えます。

「てんでんこ」のように、私たちも「with coronavirus の生活」から学ぶ事がなくてはなりません。「マスク着用」「手洗い・うがい」「ソーシャルディスタンス」のキーワードは、きっと語り継がれるものになっていくはずで、そして、この経験を通して学んだことを私たちの生活に刷り込み、さらに未来の子孫たちに伝授していくことが私たちの使命とも言えます。

緊急事態宣言は解除されたものの、感染再爆発の危機に対する注意は引き続き必要ですし、安心できる通常に戻るにはまだ少なくとも2～3年はかかると説明する専門家もいます。感染症に十分な注意を払いながら、悲観的ではなく前向きな気持ちで新年度を迎えられるよう熊谷東中学校職員一同準備を進めてまいりたいと思います。

本年度中に賜りましたご厚情に感謝申し上げますとともに、来年度につきましても本校への御支援、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

熊谷東中歳時記（3月）

卒業を祝う会が行われました。

4日（木）に行われた卒業を祝う会は、史上初の映像による実施となりました。1，2年生の実行委員が1ヶ月以上前から企画を考え、撮影を行いました。先生方や部活動の後輩からのメッセージ、3年間の思い出を振り返る場面では、笑いあり涙ありと大きく盛り上がりました。3年生だけでなく、先生方も涙を流すなどとても感動的な会となりました。

また、1・2年生も後から視聴しましたが、誰もが見入っており、最後には拍手をしている生徒もいました。70分という時間を感じさせないほどクオリティの高い映像でした。最近の生徒は（という言い方も失礼かもしれませんが）、日常的にこうした映像に触れていることから、多種多様なアイデアが詰め込まれていたと思います。実行委員のみなさん3年生にすばらしい思い出を残してくれてありがとうございました。



卒業式の歌「青春（ぼくら）の詩（うた）」お披露目会が大きく報道されました。

先月号でお伝えした3年生作詞・作曲の「青春の詩」のお披露目会が、11日（木）に編曲者の永井秀和さんをお招きして盛大に開催されました。永井さん自身も歌が愛されていること、大きな声での合唱が聞けたことに大変感動していました。6月の木下先生の提案から始まり、歌詞作り、曲作りと半年以上かけて一つの歌を作り上げたことは、3年生の心に大きく残ることかと思えます。ぜひ成人式で再開したときには、この歌をみんなで合唱してほしいと思います。

また、この取組は、NHKや朝日新聞など数々のマスコミから取材を受けました。インタビューを受けた代表の生徒が、立派に受け答えをしている姿も素晴らしかったと思います。この模様は、web上でまだ視聴可能ですので、ぜひご覧ください。



卒業式が挙行されました。

16日（火）に第60回卒業式が挙行されました。147名の卒業生のみなさん、そして保護者の皆様本当におめでとうございます。河野生徒会長の答辞を聞き、改めて卒業生が悔しい思いや悲しい思いをしてきたことを感じるとともに、与えられた条件の中で、精一杯の青春を謳歌していたことに気づかされました。校長先生の言葉にあったように、漠然とした夢ではなく具体的な目標を持ち、着実に努力を積み重ねていってください。

また、前日に行われた卒業式準備では、1・2年生が、それが一つの学校行事であるかのように、とても熱心に取り組み、すばらしい環境を整備してくれました。当日の式には参加できませんでしたが、その心意気は十分に伝わりました。これからの東中学校がとても楽しみです。



球技大会が行われました。（1・2年）

23日（火）には1年生、24日（水）には2年生が球技大会を行いました。バスケットボール、ドッジボール、サッカー、全員リレーと様々な競技がありましたが、全力で取り組む姿とともに、クラスや仲間を精一杯応援する姿はとても清々しく感じました。好天の中、一年の最後にこうした行事ができて本当によかったと思いました。

